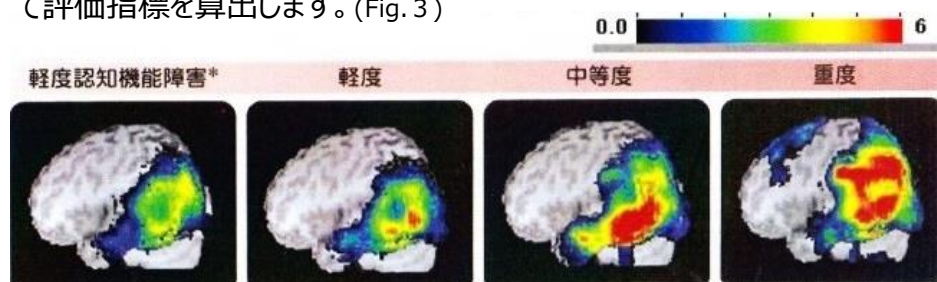


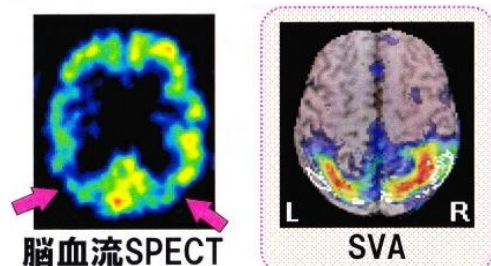
## 初期アルツハイマー診断ツール：eZISのご紹介

当院では脳血流SPECT画像に加え、診断支援として統計解析ソフト（eZIS）を使用しています。eZISでは**軽度認知障害（MCI）**の段階から血流低下を描出できる可能性があります。（Fig.1）脳血流SPECTの画像上では、認識しにくい血流低下領域をeZIS結果画面上に表示することで、**今後アルツハイマー型認知症（AD）になる可能性があるかを判断する一つの目安にすることができます。**（Fig.2）今回はeZISの機能の一つであるSVAについてご紹介いたします。

SVA（疾患特異領域解析）：MCI群で有意に血流低下がみられた領域（**後部帯状回、楔前部、頭頂葉**）について評価指標を算出します。（Fig.3）



(Fig.1 重度別血流変化)



(Fig.2 処理例)

### A. 後部帯状回、楔前部、頭頂

Severity	Extent	Ratio
5.0	100%	10倍
1.19	14.2%	2.22倍
<b>1.06</b>	<b>9.09%</b>	<b>1.58倍</b>

①



参考：

②

解析方法	識別能の正診率	AUC	95%信頼区間	閾値
1.severity	85%	0.924	0.850-0.965	>1.19
2.extent	86%	0.934	0.865-0.972	>14.2%
3.ratio	80%	0.862	0.759-0.929	>2.22倍
4.visual	80%	0.866	0.771-0.930	

参考文献：

Matsuda H. et al.: Automated discrimination between very early Alzheimer's disease and controls using an easy Z-score imaging system for multicenter brain perfusion SPECT. AJNR Am J Neuroradiol. 2007;28:731-6

(Fig.3 解析結果例)

- ① SVA解析結果では被験者データとして3つの指標を算出しています。
- Severity：ADで特異的に血流低下が起こる箇所です。どれだけ血流が低下しているか
  - Extent：疾患特異領域内で健常者より有意に血流低下している領域の広さ
  - Ratio：全脳での血流低下の領域と疾患特異領域内での血流低下領域の比
- ② 3つの指標について、閾値を超えた場合の正診率を表示しています。

ご予約・お問い合わせ

地域医療連絡室（JUNC）まで



0120 - 107 - 352

受付時間

8:30~19:00 (月~金)

8:30~13:00 (土) ※日祝日は休み

現在の予約状況（緊急検査は随時対応致します）

《CT》 即日対応可 《PET》 翌平日対応可

《MRI》 約10日以内 《放射線治療》 随時受付中